

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021年 8月21日 (18: 00～ 19: 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・宮野洋美・真子加寿恵・藤原しのぶ ・盛光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・林拓弥・新井久美・亀田優紀 ・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	2人		16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し星のミーティングに参加した職員が情報の伝達を行っていくと共に、当日ミーティングに参加出来なかった職員へその都度情報の確認をしたか声掛けし自ら情報収集していくよう習慣づけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・星のミーティングの内容を自分から積極的に聞きに来る職員が少なく、受動的になっている。又、職員間で情報収集をしようとする意識に温度差があるように感じる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	8人	2人		16人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5人	9人	2人		16人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4人	11人	1人		16人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	13人	1人		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① については利用開始前に得た情報を毎日のミーティングなどを通し全職員に伝達、周知している。また職員会議なども活用し本人や家族の要望をその都度共有する様にしている。	
② はサービス利用開始前に本人、家族と必要なサービスや具体的な支援方法を話し合い過不足のないサービスを提供している。	
③ については職員や環境に自然と慣れももたえるように、会話や席の位置に配慮し本人の負担や不安の軽減に努めている	
④ については送迎時等、家族と会う機会があれば苑での様子や困った様子や困った事が聞かないか聞くようにしている。家族との対話を大切にし信頼関係を築けるように心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用日までに日数が少ない為、本人や家族からの情報が細かく得られない事がありアセスメントだけでは不十分に感じることがある。	
・業務に追われていたり、職員間の意識の違いから昼のミーティングに参加していない職員への情報の伝達が十分でない時があった。	
・声掛けや気遣いはしているが初期の段階では利用者との密な関係構築にまでには至っていない。又、業務に追われマナーマンにてゆっくり会話をする時間が持たず、密に関わる機会が少なく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時、業務に入る前に日報(申し送り)に目を通すだけでなく内容を理解・把握し、疑問点や不明な点があれば当日のリーダーへ納得いくまで聞き解決するようにする。又、リーダーになった職員は他職員より質問をされても答えられるよう意識を持つ。 ・フロアの見守り等にて星のミーティングに参加できなかった職員への伝達を行う時間を別途つくる。 ・個別に実施しているフットケアや散歩の時間を有効活用し、対話やコミュニケーションから本人の想いを汲み取るようにしていく。又、日々の関わりの中から利用者や利用者家族を知り、想いを探る努力をしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年 8月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー
・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・宮野洋美・真子加寿恵・藤原しのぶ
・服光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・林拓弥・新井久美・亀田慶紀
・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	2人		16人

前回の改善計画

- ・1カ月に2～3名の利用者を決め、各利用者の個人ファイルに入っているアセスメントシート・センター方式などに目を通し、情報の再確認と把握をしていく。チェック表を作成し実施したらサインをするようにしていく。
- ・当日リーダーの役割がついている職員が主に介護記録の記入・確認をする事が多いため、リーダー職員が各職員へ業務の指示を出し特定の職員だけでなく当日出勤全職員で記録の記入に携わり余裕を持つことで各利用者の目標に沿った記録をしていくようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・最初の項目については忘れていたりする職員も中にはいたが、適宜声掛けをしあい取り組んでいる。改めて個人ファイルへ目を通す事で、各利用者の生活歴など細かな情報の再確認をする事が出来ている。
- ・担当業務に追われてしままい当日出勤の全職員が記録に携わることは難しく、関わった職員やリーダーが記入することが殆どになっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」 がわかっていますか?	2人	12人	2人		16人
② 本人の当面の目標 「～したい」 がわかっていますか?	2人	11人	2人	1人	16人
③ 本人の当面の目標 「～したい」 を目指した日々のかわりか?	2人	11人	2人	1人	16人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3人	10人	3人		16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②③については、1ヶ月に2～3人の利用者を決め個人ファイルに目を通すことにより情報の収集や再確認が出来ている。アセスメントや本人、家族から日々情報収集をし、関わっていく中で新たな情報があればその都度職員会議や毎日のミーティングを活用し共有をしている。

④についてはいつもと違う言動や些細な事でも変化があった時は報告するとともに、毎日のミーティングや職員会議にて話し合い対応方法を変更するなどしている。又、その後の様子なども都度共有し個々に合った対応ができるよう取り組んでいる。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の身体的、精神的変化により想いも変わってくることもあり、核心にまでは至っていないのではないかと、認知症もある為本人より得られる情報に限りがあり、家族も遠方に住んでいると情報を得る機会が少ない
- ・各利用者のニーズや目標を意識する場面が少なく、自分の担当利用者以外の把握が出来ていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・継続し、月毎に決めている2～3名の利用者の個人ファイルに入っているアセスメントシート (生活歴等記入されたもの) やセンター方式に全職員が目を通し、情報の再確認・把握をしていく。自分の担当利用者に変化があればその都度センター方式へ追加記入しミーティングや職員会議にて情報共有していく。
- ・記録の記入に携わる際は各利用者の介護記録に挟んでいるフローシート (短期目標等記載されたもの) を確認の上、それに沿った記録を行い日々の業務を通して担当利用者以外のニーズや想いも把握できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年 8月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー
・野村恵美・岩崎長子・水口眞由美・宮野洋美・眞子加寿恵・藤原しのぶ
・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高築淑・林拓弥・新井久美・亀田優紀
・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	2人		16人

前回の改善計画

- ・継続し、送迎時や受診時・電話など家族と話す機会がある時は新たな情報を得られる様、こちらから声掛けをし些細な事柄でも情報収集するようにする。又、センター方式を更に活用し本人や家族から密な情報収集をし各利用者を知り、理解を深める努力をして行く。認知症などから本人からの正確な情報が得られにくくても、表情や行動など細かな変化も日々のミーティングや職員会議にて職員間で共有、対応方法を検討しケアや支援に繋げて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎時など家族と話す機会を重要視し新たな情報が得られるよう、また信頼関係を築けるように心がけた。利用者のいつとも違う様子や言動、些細な体調の変化も都度毎日のミーティングで報告・共有し、家族へも伝達をおこない連携が取れるようにした。本人の発した言葉や態度、状態から皆で対応方法を考えケアに活かし改善点などもその都度話し合いをおこなった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2人	10人	3人	1人	16人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基本的な介護ができていますか?	7人	8人	1人		16人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	11人	2人		16人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その態度共有していますか?	5人	10人	1人		16人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	3人	10人	3人		16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①については各利用者のアセスメントシートから情報収集するとともに、日々の関わりや家族から新たな情報を得られる様に努めている。

②については家族や本人の意向をふまえ、その時の本人の状態に合わせて食事形態を変えて提供している。入浴や排泄介助においても対応する職員の性別や時間帯なども考慮し、利用者に合わせて個別対応をしている。

③④⑤については日々の関わりから本人の気持ちや状態の変化に出来るだけ早く気づき、毎日のミーティングで対応した職員が他職員へ情報を発信している。又、体調やいつとも違う様子があれば送迎時に家族へ伝達し自宅での様子もその都度収集をしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・認知症などから本人からの情報が得られにくい。状態の変化を感じ情報の共有はするが職員間の意見が統一していない為、具体的な支援がすぐに行われていない時がある。
- 又、日々情報収集するように取り組んでいるが家族が遠方に住んでいたり新型コロナウイルス感染症予防のため面会制限や移動自粛等で情報収集の場面が少なくなっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職員間の意見や支援方法が一致した場合にすぐケア方法を変更し対応していく。そうでない場合はうやむやい方向にように毎日のミーティングや職員会議も活用し支援方法を全職員で検討し、利用者にとってより良い方向に向かえるように支援する。
- 引き続き送迎時や電話時など家族と関わる場面では、こちらから声掛けし家族や本人の声や想いを聴取する。メールや手紙なども活用し家族が遠方に住んでいても情報交換を行いより密な関係を築けるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年 8月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー
・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・宮野洋美・真子加寿恵・藤原しのぶ
・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・林拓弥・新井久美・亀田慶紀
・中井エエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	4人		16人

前回の改善計画

- 今後も送迎時や受診時・電話など家族と話す機会がある時はこちらから声掛けをして行く。生活スタイル等更に詳しい情報収集を行い各利用者の地域との関わり、居住地区の地域資源などの把握をして行く。認知症の進行から本人から正確な情報が得られにくくても、日々の関わりや言動などから何を訴えたいのかか想いを探り、理解を深めて行く。又、その都度毎日のミーティングや職員会議にて情報を共有・周知して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 送迎時や受診時等、家族と関わる機会がある際はできるだけこちらから積極的にコミュニケーションをとり利用者に関する新しい情報を得られるように心掛けている。なかなか声掛けをおこない、そこから認知症の方に対しては日々できるだけの情報を毎日ミーティングにて発信し共有・周知している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	10人	4人		16人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	1人	11人	3人	1人	16人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	8人	5人	2人	16人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	6人	5人	4人	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①③については日々の関わりや家族からできるだけの情報を得られるように心掛け、個々のアセスメントシートやセンター方式を活用し生活スタイルなどを理解するようにしている。事業所以外での様子も本人や家族から都度聴取するようにし職員間で情報共有をおこなっている。

②④については送迎時間や連絡帳を通じ、新しい情報が得られるよう努めている。かかりつけ医への受診やレクリエーションなどで馴染みのある場所へドライブに行くなど、利用者や家族・地域との関わりが切れないうようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・本人や家族との関わりから様々な情報を得るよう心掛けてはいるが、認知症などもあり本人からの情報が得られにくく、新型コロナウィルスの影響もありレクリエーションや行事での外出や家族と会う機会も減っている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 毎月、2～3名ずつ行っている各利用者のセンター方式・個人ファイルの確認と情報の把握を継続し利用者への理解を深めるとともに、新たな情報を得た際は職員間で共有していく。
- 又、毎日の関わりや個別に設けている散歩などの時間にも活用し本人の言動や表情など些細なことから想いを汲み取るようにしていく。送迎時、電話時など家族と関わる機会がある時は今後はこちらから声掛けし新たな情報を引き出せるよう努力していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年 8月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー
 ・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・宮野洋美・真子加寿恵・藤原しのぶ
 ・藤光利治・水野正宏・竹野下舞・高菜淑・林拓弥・新井久美・亀田慶紀
 ・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	3人	1人	16人

前回の改善計画

・地域住民と顔を合わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。
 コロナウイルスが落ち様々な規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

・新型コロナウイルス感染予防のため行事の開催が出来ず、地域の方との交流する機会が少なくなっているが継続し通勤時の挨拶などから関係性が途切れない努力をしている。
 運営推進会議等も感染予防の為開催できない月が多かったが書面にて意見交換を行うとともに、地域の方へ情報の発信をしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	8人	4人	2人	16人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12人	2人	2人		16人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	10人	1人		16人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8人	6人	2人		16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

②④については本人や家族の希望により、臨機応変に過不足のないサービスを提供している。送迎時間の変更、利用日の追加、急な泊りなど出来る限り対応している。台風などの緊急時なども状況に応じて家族と連携をとり柔軟な対応をおこなっている。

③については日々の関わりの中で見つけた変化は毎日のミーティングなどを活用し情報共有をしている。支援方法も皆で検討し、各利用者に合わせた支援が出来るようにしている

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・新型コロナウイルスの影響もあり、行事の開催が出来ず行動も規制されているため更に地域の方と交流する機会が減っている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・今後も通勤時の挨拶や毎週行っている地域清掃など小さな事を継続しておこない、地域住民との関係性を深められるように努力して行く。
 コロナウイルスが落ち様々自由な行動が可能になった時は運営推進会議などを活用し地域と協力し行事を開催して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年 8月21日 (18: 00～ 19: 00)

6. 連携・協働

メンバー
・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・宮野洋美・眞子加寿恵・藤原しのぶ
・盛光利治・水野正宏・竹野下舞・高菜淑・林拓弥・新井久美・亀田慶紀
・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	3人	1人	16人

前回の改善計画

- ・地域住民と顔を会わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。
コロナウイルスが落ち様々な規制緩和がなされた時は、地域でのイベントに参加し交流を深めて行く。
今後も行事やレクリエーションにて地域資源の把握・活用を行い顔の見える関係づくりをして行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・通勤時など地域の方と顔を会わせる機会がある時はこちらから挨拶をするようにしている。レクリエーションにて施設周辺へドライブに行ったり、地域の交通ルールを守るなど今できる事で関係を探められるよう努力をした。
新型コロナウイルスの影響もあり、イベントの開催・参加が出来ず交流には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① その他のサービスマネジメント機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2人	7人	4人	3人	16人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	5人	2人	6人	16人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		3人	5人	8人	16人
④ 登載者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			5人	11人	16人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ① についてはケアプランの更新時に担当者会議を開催し、他事業所と連携をとっている。又、そこで得た情報は管理者やケアマネジャー、看護師より毎日のミーティングや職員会議にて都度共有をしている。但し、職員の役割として他事業所とほとんど関わらない者もいる。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新型コロナウイルスのため、行事の開催・地域のイベント参加が出来なかった。外部の方の施設訪問も規制されており交流の機会が減っている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・今後も通勤時の挨拶や毎週行っている地域清掃など小さな事を継続しておこない、地域住民との関係性を深められるように努力して行く。
コロナウイルスが落ち着き自由な行動が可能になった時は運営推進会議などを活用し地域と協力し行事を開催して行く。
コロナ過であってもできる事(地域密着委員会での金比羅通信の発行など)も継続し地域へ情報発信をして行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021年 8月21日 (18 : 00～ 19 : 00)
7. 運営	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口眞由美・菅野洋美・眞子加寿恵・藤原しのぶ ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・林拓弥・新井久美・亀田優紀 ・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	3人	1人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と顔を会わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。 ・コロナウイルスが落ち様々な規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時や清掃時等、地域住民と顔を会わせる機会がある時は、こちらから挨拶を行い関係性が途切れぬ様、努力をした。新型コロナウイルスの影響もあり、イベントの開催・参加が出来ず交流には至らなかった。 ・地域密着委員会を通してフロイデ金比羅通信を作成し(施設紹介等)、回覧にて地域の方々を目を通してもらえる様にしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3人	9人	2人	2人	16人
② 利用者・家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	12人	1人	1人	16人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	10人	2人	2人	16人
④ 地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	7人	5人	3人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ① については日々のミーティングや職員会議にて個々が感じている事等を話し合い、都度意見交換を行っている。日々の気付きなどについては、事務所内に意見箱を設置し職員会議後に全職員で検討し改善に向けて取り組んでいる。 ②③については利用者や家族より意見があった際は、ミーティングや職員会議で話し合い対応方法など検討し対応している。又、事業所内に苦情窓口があり各々の苦情や意見に迅速に対応している。施設内から出る時の(右折禁止)など交通ルールを守っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
できていない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり、行事の開催が出来ず行動も規制されているため更に地域の方と交流する機会が減っている。 ・新規利用者獲得については管理者、ケアマネジャーが主に対応しており全職員が携わっているとは言えない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も通勤時の挨拶や毎週行っている地域清掃など小さな事を継続しておこない、地域住民との関係性を深められるように努力して行く。又、地域密着委員会などを活用しコロナ禍であっても出来る新たな地域との交流方法も考えて行く。 ・コロナウイルスが落ち着き自由な行動が可能になった時は運営推進会議などを活用し地域と協力し行事を開催して行く。 ・利用者獲得にむけ限られた職員が携わるのではなく、見学時や体験時にこちらから挨拶をする・職員一人一人が事業所の良い所をアピールし全職員で関わるようにして行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021年 8月21日 (18: 00～ 19: 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・宮野祥美・真子加寿恵・藤原しのぶ ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英徹・林拓弥・新井久美・亀田優紀 ・中井ミエ子・鹿子島みなみ・大庭純子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	3人	2人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響で外部研修などに参加する事が困難な為(開催地や研修自体が中止等)毎年新年度に立てている個人個人の年間研修計画をもとに自己学習をしていく。学んだ事を業務で活かすと共に、毎月の勉強会にも取り入れケアの向上に繋げて行く。 又、研修に参加した職員は後日実施している勉強会で研修内容を報告する場を設けて行く。学習内容から具体的に現場で活かせる事を掲げ、それを職員で取り組む事によってスキルアップ及び意識の向上を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり外部研修にはなかなか参加が出来なかったが、内部研修や毎月の職員会議後の勉強会には参加する事が出来ている。 勉強会は月ごとに職員が講師となりテーマも変え緊急時の対応などすぐに実践に活かせる内容を、時にはロールプレイングも交え実施し日々の業務に取り入れられるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6人	6人	2人	2人	16人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	4人	5人	3人	16人
③ 地域連絡会に参加していますか		5人	3人	8人	16人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	10人	2人	1人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① については毎月職員会議後の勉強会でテーマと講師を決め、ロールプレイングも取り入れ実際に起こりうる場面を想定し問題の解決方法や対処方法を学んでいる。	
④ については毎日のミーティングや職員会議にて日々の関わりのなかで起こりうるリスクについて意見交換し対応に活かしている。起きた事柄に対しても対応方法などを変更してその後どうかなど、都度話し合い改善に向け全職員で取り組んでいる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルスの影響もあり外部研修への参加が出来ていない。	
職員によりスキルアップへの意欲の差もあり自主的に研修に参加する職員が少なかった (内部研修も含む)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・継続し毎年新年度に立てている個人の年間研修計画をもとに自己学習をしていく。勉強会では毎月講師となる職員・テーマを変更している為、自身が講師になった月は学んだ内容を取り入れるとともに発表の場を設け個々の意識向上を図って行く。	
又、認知症実践者研修・実践者リーダー研修などのすぐに業務に活かせる研修を管理者が中心となり勤続年数などから計画的に参加できるようにし知識・技術の取得、向上を図る。	